

1

ニッポンハムグループ・日本ハム(株)

	各社の考え方
<p>□ 算定を行う背景・目的</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ニッポンハムグループ国内の全事業所のScope1,Scope2は集約できているためScope3の算定によってバリューチェーン全体の環境負荷量を把握する。 ● Scope3におけるGHG排出に関するリスクと機会、さらに削減の機会を識別し、削減目標をたてる参考資料とする。 ● Scope3における環境負荷量を把握することで商品のライフサイクルでの削減に取り組む。
<p>□ 算定結果の活用方法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 社外からのアンケートなど問い合わせにも対応できる体制を準備しておく。 ● 社内では算定の結果を共有することで、企業活動において各自の業務がどのように環境負荷を与えているか再認識できる機会とする。
<p>□ 算定のメリット</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● カテゴリー別に沿った環境データの管轄部署(社内)が明確になる。さらに管轄部署がデータの活用法に関心を持つため環境意識の向上につながる。 ● ニッポンハムグループに関係のあるサプライヤーと協働して、バリューチェーン全体のGHG排出量の削減を進めるための意識喚起が図れる。 ● Scope3をステークホルダーに対して情報発信することで企業姿勢をお伝えできる。
<p>□ 社内の算定体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● グループ内の環境情報共有システムにおいて収集したデータを基本とし、算定に必要なデータは各部門に別途準備してもらい日本ハム(株)社会・環境室が算定している。 ● 算定に必要なデータの不足部分は一定のシナリオを設けて算定している

	各社の考え方
□ サプライチェーン排出量の削減に向けて	<ul style="list-style-type: none">● 各部門が関係するサプライチェーンの環境負荷を把握することで無駄を排除し、効率的な運営の実践につなげる。
□ サプライチェーン排出量算定の課題	<ul style="list-style-type: none">● 自社で入手出来ないデータ(取引先、得意先のセンターで使用する冷蔵庫の電力使用量等)の算定が簡易化できる推計値があると良い。
□ その他(任意)	

3

ニッポンハムグループ・日本ハム(株)

カテゴリ	算定方法	
	活動量	原単位
カテゴリ1「購入した製品・サービス」	<ul style="list-style-type: none"> ● 原材料・包装材・段ボールの調達量 	<ul style="list-style-type: none"> ● 物量ベースの排出原単位
カテゴリ2「資本財」	<ul style="list-style-type: none"> ● 資本財の設備投資額 	<ul style="list-style-type: none"> ● 資本財金額当たりの排出原単位
カテゴリ3「Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動」	<ul style="list-style-type: none"> ● 電気及び燃料の調達量 	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギー種別の排出原単位
カテゴリ4「輸送、配送(上流)」	<ul style="list-style-type: none"> ● 原材料ごとの調達量・輸送距離 ● 輸送距離・積載重量をもとに作成したトンキロ(トラックの場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 輸送時の排出原単位
カテゴリ5「事業から出る廃棄物」	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物処理方法別排出量 ● 輸送距離・積載重量をもとに作成したトンキロ(トラックの場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物処理方法別原単位 ● 輸送時の排出原単位
カテゴリ6「出張」	<ul style="list-style-type: none"> ● 出張交通手段ごとの旅費支給額 	<ul style="list-style-type: none"> ● 出張交通手段ごとの排出原単位
カテゴリ7「雇用者の通勤」	<ul style="list-style-type: none"> ● 通勤手段ごとの支給給額 	<ul style="list-style-type: none"> ● 通勤手段ごとの排出原単位
カテゴリ8「リース資産(上流)」	<ul style="list-style-type: none"> ● 算定対象なし 	<ul style="list-style-type: none"> ●
カテゴリ9「輸送、配送(下流)」	<ul style="list-style-type: none"> ● 輸送距離・積載重量をもとに作成したトンキロ(トラックの場合) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 輸送時の排出原単位
カテゴリ10「販売した製品の加工」	<ul style="list-style-type: none"> ● 業務用商品の出荷量 ● 得意先の加工方法・加工時のエネルギー使用量 	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギー種別の排出原単位
カテゴリ11「販売した製品の使用」	<ul style="list-style-type: none"> ● コンシューマ商品の出荷量 ● 家庭での加工方法・加工時のエネルギー使用量 	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギー種別の排出原単位
カテゴリ12「販売した製品の廃棄」	<ul style="list-style-type: none"> ● 食べ残しによる廃棄量 ● 容器包装資材の廃棄量 	<ul style="list-style-type: none"> ● 廃棄物種類別の排出原単位 ● 容器包装資材別の排出量原単位

4

ニッポンハムグループ・日本ハム(株)

カテゴリ	算定方法	
	活動量	原単位
カテゴリ13「リース資産(下流)」	● 該当なし	●
カテゴリ14「フランチャイズ」	● 該当なし	●
カテゴリ15「投資」	● 該当なし	●